

環境美化：考え、みましよう

世界的な人口増加や産業経済活動の拡大は、地球温暖化をはじめとして、地球規模での環境破壊につながる多くの問題を生んでいます。今、日本を含め多くの国・地域・企業・行政では、環境に配慮した取り組みが行われています。また、7月には、地球温暖化をはじめとした「環境問題」を重要な課題として「北海道洞爺湖サミット」が開催されます。

私たちが住む日野町は、鈴鹿山系のすぐれた自然環境を持った、花と緑があふれる自然豊かな町です。環境保全・美化のために、日野町でもさまざまな取り組みが行われています。今回は、「環境美化」について、その取り組みをご紹介します。



町では、「日野町ごみゼロ大作戦」として、環境美化に取り組んでいます。

今年、6月1日(日)に日野町、日野町エコライフ推進協議会、美しい湖国をつくる会日野支部の主催により、「日野町ごみゼロ大作戦」が行われました。これは『滋賀県ごみの散乱防止に関する条例』に基づく環境美化の日(5月30日)を基準日とし、県内各地で開催されています。

日野町老人クラブ連合会、日野町赤十字奉仕団などの日野町エコライフ推進協議会の構成団体や、家族や個人で参加された方など、総勢140名が参加されました。作業は、主に国道307号と477号沿いに、3方向に分かれて行われました。

集められたごみの中には、空き缶、ダンボール、車のホイール、お菓子の袋やお弁当のパック、中には石油ストーブまでありました。おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に初めて参加した野崎優希くん(小学2年生)は、「たばこの吸殻がたくさん落ちていました」という感想を、また更生保護女性会の一員として参加された八木久子さんは、「他の美化活動には参加していませんが、この事業への参加は初めて。たばこのポイ捨てやジュースの缶が多かったように思います」という感想をお聞かせいただきました。

ポイ捨てのないきれいなまちづくりをみんなで心がけていきましょう。



今回集められたごみ

★ 可燃ごみ **470kg**
(75袋分)

★ 不燃ごみ **110kg**

自治会での取り組み

◀曙区▶

曙団地自治会では、積極的に環境美化活動に取り組まれています。新年度になると、1年間の計画を決め、精力的な美化活動を進めていくことを、長年引き継がれています。

1年の中で、春、夏、秋の3回は自治会で美化活動に取り組まれ、それに加え、月1回、組ごとの美化活動が行われています。

今年も5月11日(日)に自治会美化活動が行われました。草の根公園、国道307号沿い、沈砂池周辺など、地区内を分担し清掃活



曙団地集会所周辺



地区外での
清掃活動の様子

動をされました。地区内だけでなく地区外にも清掃の場を広げ、活動をされています。

また、組ごとの美化活動では、191世帯が、北6組、南6組に分かれ、個別に取り組みをされています。それぞれに指定場所があり、日程を調整され、実施されています。

さらに、『ゆうゆう会』というグループでも、自主的な空き缶・ごみ拾いなどの活動に取り組まれています。

美化活動を終えたあとは、皆さんが集まれ、ふれあいの場となり、自治会に根付いた美化活動が、地域のつながりを強めることにもなっているようです。

学校での取り組み

各小学校、中学校では、5月30日「こみゼロの日」、7月1日「びわ湖の日」、そして12月1日の「県下一斉清掃の日」に関連して、それぞれに美化活動への取り組みが行われています。

「こみゼロの日」には、それぞれの学校で日程を決め、授業時間を使って校庭の除草作業を行ったり、昼休みと掃除の時間を利用して、意識的に清掃作業を行ったりと学校独自の取り組みをされました。

これからのまちを担う子どもたちの美化活動は、大きな意味を持っているのではないのでしょうか。



各小学校、中学校での取り組み

個人で、地域のみんで、学校で…

日ごろからまちを美しくするために取り組んでおられる方がたくさんおられ、わたしたちのまち「日野」が美しく保たれています。

今後も“住み続けたいまち”“住んでみたいまち”となりますよう、また、美しいまちとしての「おもてなし」ができますよう、ご協力をお願いします。